



仙台市立立町小学校

たちまちしょうがっこう

立町小学校は明治6年(1873年)7月7日に創立しました。
広瀬通りの銀杏並木を通学路に、子供たちが元気に登校しています。

立町小学校の子供たちは、コロナ禍であっても明るく笑顔で学校生活を過ごしています。これも保護者の皆様の、学校の教育活動へのご理解とご協力のおかげと感謝いたします。

地域の皆様も子供たちを常に見守ってくださり、まさに保護者と地域と学校が心をついに、子供たちの成長を喜びとしているのが立町小学区だと思えます。

今年度も行事等は計画通りの開催が難しく、PTA本部の方々に相談したり、保護者の皆様に変更をお願いしたりすることがありましたが、そのたびに応援や励ましの言葉をいただき、ほっと温かい気持ちになりました。直接お会いする機会が少ない中でも、つながりを感じ心強く思いました。本当にありがとうございます。

来年は開校150年を迎えます。また、コミュニティ・スクールの実施に向けた準備も始まります。優しく思いやりのある立町小の子供たちが、今後も健康にすくすくと大きくなるように皆様と共に頑張ってください。よろしくお願いいたします。

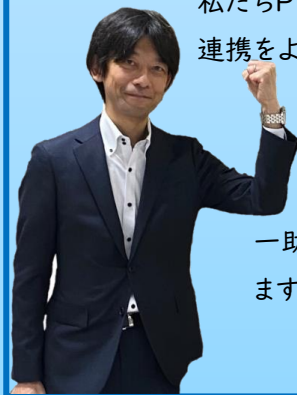


(滝川真智子 校長先生)



立町小学校の学校案内をご覧ください、ありがとうございます。

立町小は令和4年7月に創立150年を迎える、伝統ある学校です。学区内には仙台城址や繁華街・国分町などがあり、文化と賑わいが調和した街並みが広がっています。



私たちPTAも、教職員の皆さんとの連携をより密にし、また、城下町の歴史を受け継ぐ地元地域との繋がりも大切にしながら、児童を健全に育む活動の一助を担っていきたくと思っています。

(平塚禎嘉 PTA会長)

『校章』

中心の鳥は青葉城天守台の金鷲をモチーフに、「立」と「小」がデザインされています。その周りを囲む円は清流広瀬川を型取っています。鳥が飛び立つ様子は「強靭さ・たくましさ」を、また、広瀬川のように「明るさ・豊かさ・清らかさ」を。児童への期待と願いが込められている立町小の校章です。



『土井晩翠先生の像』

土井晩翠先生は立町小の校歌を作詞された我が校の偉大なる卒業生です。校舎中央の来客用玄関には若き日の先生の胸像が

あり、「荒城の月」のメロディとともにお客様を出迎えています。



先だって立町地区内での違法駐車対策を求める署名活動を行い、平塚会長が立町地区町内会連合会長とともに宮城県警に請願書を提出して参りました。今年度も例年通りのPTA活動とはかず、毎月の防犯パトロールがメインとなってはいますが、子供たちの安心安全の学校生活を陰ながら見守り、支えていくレガシーはコロナ前と何ら変わりありません。

